IXC

海外ITサービスの国内契約・ウォン決済の手引き

契約主体と証憑、更新とサポート範囲を併せて検討する購買様式

導入の判断と実行のためのIXC実務資料

2026.09 発行 · 日本語版 · PDF + Excel記入様式

この資料の活用

海外ツールの購買経路を比較し、財務・法務・技術の担当が確認すべき質問を稟議書にまとめます。

購買・財務担当、導入担当、技術リーダー

目次

01 サービスの利用と購買条件を区別します 3

02 予算と証憑を項目ごとに比較します 4

03 アカウントの所有と更新の日程を管理します 5

04 技術サポートとデータを検討します 6

05 購買の決定を稟議書に残します 7

記入と活用

PDFの基準を読み、空欄に実際の条件と未確認の項目を記入します。同じ部門のExcelには資料ごとの記入シートがあります。記入例は、実際の顧客事例や確定した見積もりと区別してお使いください。

出典を明記すれば、社内検討と業務遂行のために引用・改変してご利用いただけます。最新のファイルは www.ixc.co.kr/ja/assets でご確認ください。

サービスの利用と購買条件を区別します

海外ITサービスの購買は、製品の機能、契約相手、請求方式、技術サポートを併せて決める作業です。同じ製品でも、供給経路によって確認すべき文書が変わります。

購買経路	契約・請求の確認	サポート範囲の確認
海外ベンダーとの直接契約	契約法人、アカウント所有者、通貨と証憑	ベンダーの基本サポートと別途の導入支援
韓国国内での再販契約	韓国国内の供給法人、利用規約、請求項目	韓国国内での受付とベンダーへの問い合わせの分担
パートナーによる請求・購買支援	製品利用契約と請求契約それぞれの相手	購買支援、連携開発、運用が含まれる範囲

パートナーを経由するというだけで、製品の利用規約やデータ処理の条件が変わるわけではありません。製品契約、請求契約、構築・運用契約の法人名と文書名をそれぞれ記入します。契約経路を決めるときは、必要な証憑と実際のサポート範囲まで同じ表で比較します。

> **最初に取り寄せる文書**
>
> 見積書、製品の利用規約、注文書または契約書、サポート範囲、更新・解約の条件です。個人情報が含まれる場合は、データ処理に関する文書と下位処理者の一覧も検討資料に加えます。

予算と証憑を項目ごとに比較します

製品の利用料と導入・運用の費用を分けると、初期費用と継続的な支出を併せて検討できます。想定使用量と超過単価の適用単位は、同じ期間にそろえます。

購買経路別の費用・証憑比較表

確認項目	候補経路A	候補経路B	確認担当
利用料・請求期間・通貨			
使用量の基準・超過分の請求			
導入・運用サービス費用			
為替の適用日・見積もりの有効期間			
提供する証憑と発行法人			
税務検討に必要な原文			

見積もりにウォン建ての金額があっても、為替が適用される時点と更新時の調整方法を確認します。使用量が減ったときに減額できるか、追加の使用量をどの期間で精算するかも記録します。税務処理は、契約文書と実際の取引構造を財務担当に渡して確認する項目として残します。

> **記入例**
>
> 経路Aが年間前払い、経路Bが月次請求であれば、月額単価だけを比較しません。同じ利用期間の利用料、超過利用料、導入費と運用費をそれぞれ記入し、決済時点も併せて示します。

アカウントの所有と更新の日程を管理します

購買担当者が替わっても、アカウントと更新の案内は組織に残る必要があります。ログイン権限、請求権限、サポート問い合わせ権限を分けて管理します。

管理対象	確認する条件	残す記録
アカウントの所有	会社アカウントと復旧方法、管理者の変更	管理者と代替担当
請求	決済手段、請求書の送付先、支出の承認	財務の窓口と承認手続き
更新	期間、自動更新、変更・解約の通知時期	原文の条項と検討日程
使用量	基準単位、使用量アラート、超過時の処理	基準値と点検担当
終了	データのエクスポート、アクセスの終了、削除依頼	移管担当と完了の証憑

更新検討の日程表

確認する日付	契約書の原文	社内検討日	担当
契約満了			
変更・解約の通知			
予算・使用量の検討			

原文に記載された通知方法と期限を基準に、社内検討日を決めます。更新の案内を個人のメールだけに頼らないよう、受信アドレスと代替担当を確認します。決済手段の変更とサービス管理者の変更が別々の手続きかどうかも点検します。

技術サポートとデータを検討します

韓国国内での請求と韓国国内での技術サポートは、それぞれ別に協議する項目です。サービス利用料に含まれるサポートと、IXCに依頼する開発・運用業務を分けて記入します。

サポート・データ検討表

確認する質問	契約・文書の記載箇所	現在の回答	追加確認
エラーの一次受付先は？			
再現とベンダーへの問い合わせは誰が担うか？			
SDK・API連携の修正は含まれるか？			
実際のデータ処理・保管地域は？			
下位処理者と、その変更の通知は？			
データのエクスポート・削除・終了の手順は？			

データの検討では、収集項目と利用目的、保存場所、アクセス主体をまず整理します。その一覧を個人情報・セキュリティ担当に渡し、適用すべき告知と契約条件を確認します。韓国国内での契約だというだけで、データの処理場所や適用条件を推定しません。

> **OneSignal導入でIXCが担う範囲**
>
> 韓国国内での契約とウォン決済に加え、SDK連携、顧客データ設計、キャンペーンの構築と運用を協議します。既存のSMS・カカオ通知メッセージ配信事業者のAPIをJourneysのWebhookに接続する開発・運用も、必要な範囲に合わせて支援します。

購買の決定を稟議書に残します

製品を選んだ理由と、契約経路を選んだ理由を区別します。まだ確認できていない条件は、担当と確認時期まで残して承認の検討に使います。

購買検討の要約書

項目	検討内容	未確認の項目・担当
用途と対象組織		
選んだ製品・契約経路		
利用料・導入費・運用費		
証憑・更新・解約の条件		
サポートの役割と連絡経路		
データ面・終了面の検討結果		

現在の見積もりと利用規約を確認した日付も併せて記録します。同じ検討表を更新時に再び使えば、使用量、サポート範囲、契約条件の変化を比較できます。お問い合わせには、製品名と購買手続きで詰まっている項目、必要な導入・運用の範囲を記入します。

> **相談前に整理する質問**
>
> 韓国国内での契約が必要な理由、必須の証憑、想定使用量、導入の希望時期です。すでに受け取った見積もりがあれば、見積もりごとに異なる範囲と請求単位を先にそろえます。

発行・ご利用について

製品名、必須の証憑、想定使用量と希望日程をもとに、韓国国内での契約と必要な開発・運用の範囲を協議します。

IXC Corp.（アイエックスシー）

代表取締役 ナム・ギチョル | 事業者登録番号 109-86-56732
大韓民国 江原特別自治道春川市後石路462番キル7
春川ICTベンチャーセンター4階408号
+82-33-242-0210 | info@ixc.co.kr

www.ixc.co.kr

www.ixc.co.kr/ja/solutions/onesignal

www.ixc.co.kr/ja/assets/overseas-vendor-contract-guide

参考資料

IXC 海外ITサービスの国内契約・ウォン決済の手引き

https://www.ixc.co.kr/ja/assets/overseas-vendor-contract-guide

OneSignal Usage & billing

https://documentation.onesignal.com/docs/en/billing-faq

IXC OneSignalの導入・構築・運用支援

https://www.ixc.co.kr/ja/solutions/onesignal